

Ⅱ期（一般）

令和 8 年度

武蔵野大学大学院 工学研究科 建築デザイン専攻 入学試験問題（12 月 14 日）

〔専門に関する筆記試験 建築計画・建築史〕

以下の問題 1 および問題 2 に答えなさい。

解答用紙には、氏名・受験番号を明記すること。

〔問題 1〕

以下の（1）～（3）について、適切な語句を解答用紙に記入しなさい。

- 日本の木造住宅の構法で、柱や梁などで荷重を支持する構法を（1）と呼ぶ。
- 戦後の住宅改善運動の中で、衛生性や生活動線の合理化を目的として、食事行為と就寝行為を異なる空間に分けて配置する考え方を（2）と呼ぶ。
- 建築物の企画・設計・施工などの初期費用に加え、使用期間中の運転・維持管理費、改修・修繕費、税金、保険料、そして最終的な解体費まで含めた総合的費用を（3）と呼ぶ。

〔問題 2〕

以下の 3 題から 2 つを選び、いずれも 150 字以内で解答用紙に記入しなさい。

選択した設問番号を明記すること。また、必要に応じて図を用いてもよい。

- （1） パッシブデザインとは何か、具体例を用いて簡潔に記述せよ。
- （2） ル・コルビュジエが提唱した「近代建築の五原則」について簡潔に記述せよ。
- （3） 都市空間における「公共性」の役割と意義について、あなたの考えを述べよ。